



立 建 第 454 号
平成20年10月16日

国土交通省道路局長 殿

立山町長 舟 橋 貴



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

標記のことについて、別紙のとおり回答いたします。

記

- ① 道路行政全般についての改善すべき点、要望や提案など
- ② 地域の現状や課題及び目指すべき将来像
- ③ 道路施策の重点事項

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

富山県 立山町

道路特定財源の一般財源化が言われているが、受益者負担の原則から一般財源化するなら暫定税率は廃止すべきであるという議論もあり、道路整備財源の今後の状況は大変厳しいものがあるが、現状では地方の幹線道路や高規格自動車道路等対面通行路線がまだ多数未整備状況である。

地方自治体においても、幹線道路等、未整備路線の早期実施が望まれており、道路整備財源の確保をお願いしたい。

道路の維持管理については、現在、単独費で行っている。舗装補修、側溝整備等、修繕を必要とする路線が年々増高し、財政負担が大きく管理面で支障が起きている状況であり、道路維持修繕事業に対して、国庫補助事業として位置づけていただきたい。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

富山県 立山町

○現状

地方自治体は昨今の財政状況の悪化により、財源の確保が難しく、道路整備の箇所や事業費が減少している。

道路維持修繕においては、ほとんどもを単独費で行っている為、予算配分が難しく、冬期間の除雪等での舗装の損傷や交通安全走行に支障の恐れが予想される道路区画線の消去等の状況が多く発生し、維持管理上、安全な通行の確保が難しくなっている実情である。

○課題

道路財源の一般財源化による道路整備への影響

道路整備財源の確保

道路維持修繕費の確保

今後の道路行政についての意見・提案

②－２地域の目指すべき将来像

様式 ③

富山県 立山町

計画的な道路整備による、通行の安全の確保と、快適な道路環境の整備。
道路維持修繕の必要箇所により早期の手当て実施により将来的な経費の節減と安全な通行の確保。
中山間地域の活性化に欠くことのできない道路整備。

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式 ④	富山県 立山町	○その他		
○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等		
地方道路臨時交付金事業の継続	町道日中・田添線、町道女川新・浦田線、町道野沢・沢新線、町道竹林・辻線、町道手屋・二ツ塚線、町道寺田団地3号線の道路改良工事を実施中	補助事業の導入により道路整備の推進 道路維持修繕に対する補助対象の拡大による通行の安全の確保		
道路維持補修工事を補助対象に	町道利田堤防線の道路舗装補修工事を実施中	道路整備や道路修繕による住民の道路に対する満足度の上昇		